釜山旅行中、携帯電話のネット環境は常にオンライン！

釜山市を世界的な観光都市育成へ…観光インフラ、観光政策の整備実施



釜山広域市は、観光地を訪れた外国人観光客が携帯電話などで簡単にインターネットが使えるよう、年内に同市提供の無料Wi-Fiの接続環境を改善する（写真は釜山の代表観光名所・龍頭山公園周辺のWi-Fiゾーンを表示したもの）。

龍頭山公園など主要観光地270ヵ所 年内に無料Wi-Fiを追加で設置

釜山広域市は今年末までに主要の観光地や都市鉄道、市内バスなどで利用できる無料Wi-Fi(ワイファイ)の態勢を更に強化すると発表した。釜山の観光地と市内バスなどで、携帯電話など通信機器使用時のインターネット接続環境が改善される。

このような観光インフラ整備は、今年1月末に釜山市が「国際観光都市」に選ばれたことがきっかけとなった。「国際観光都市」とは韓国政府が国内の自治体を1カ所選定し、観光インフラ整備と広報予算に積極的な支援を行った上で、世界的な観光都市に育成するプロジェクトだ。

釜山市は、龍頭山(ヨンドゥサン)公園や海雲台(ヘウンデ)、広安里(クァンアルリ)海水浴場など計270ヵ所の観光拠点で、無料Wi-Fiサービスを拡充し、観光客が心ゆくまで携帯電話を使えるようにする。

現在釜山で誰でも利用できる無料Wi-Fiゾーンは計3456ヵ所。釜山市はアクセス状態が良くなかったり速度が遅かったりする場所など、270ヵ所の通信環境を改善させ、より多くの利用者が使えるようにする。

Wi-Fiゾーンは設置機関や場所によって名称は異なるが、利用方法は同じだ。携帯電話の無線ネットワーク設定からハングル表記の「認証書なし(인증서 없음)」を選択し、使用者の氏名と暗証番号欄に「wifi」と入力すれば利用できる。

釜山市が設置しているのは「Dynamic Busan」と「Public WiFi Free」、市内バスに設置されているのは「Public WiFi@BUS」。市内の各区と郡が設置した自治体別のWi-Fiに加え、観光地や伝統市場、福祉施設など最も多くの場所に設置された「Public WiFi Free」もあるが、どれでも利用可能。

釜山市は観光政策を効率的に進めようと、年内に釜山観光公社に新組織「釜山観光データ分析センター」を設立する。センターでは観光動向や市場分析、観光統計調査、観光ビッグデータの発掘・分析を通して、効果的な観光政策を樹立する資料の収集、分析を行う。このほか動画投稿サイト・YouTubeでのPR動画制作や観光案内表示の標準化、直接床に座ることを嫌がる外国人のために、飲食店を対象としたテーブル席支援事業を行っていく。

松島海水浴場に新名物のユニークな吊り橋がオープン

6月に「松島龍宮雲の橋」が開通･･･スリル満点、岩場をつなぐ長さ127mの橋



写真提供・釜山市西区

釜山広域市の松島海水浴場に、新たな名所「松島龍宮雲の橋」が誕生した。長さ約127mの吊り橋で、市民の人気を集めている（写真は龍宮雲の橋の全景）。

松島(ソンド)海上ケーブルカーで知られる松島海水浴場に6月、新名所「松島龍宮雲の橋」(以下 雲の橋)が開通した。ここは岩南(アンナム)公園から松島沖の無人島・東島(トンソム)をつなぐ、長さ約127m、幅約2mの海上の吊り橋だ。

雲の橋は独特な構造が面白く、観光都市釜山の新たなランドマークとなることが期待されている。吊り橋だけに、風が吹けばゆらゆら揺れ、足元に広がる岩場と海面ともあいまってスリル満点だ。橋から眺める奇岩絶壁の風景は美しく、日没後はライトアップされ、異なる趣を楽しめる。開放時間は毎日午前9時～午後6時。

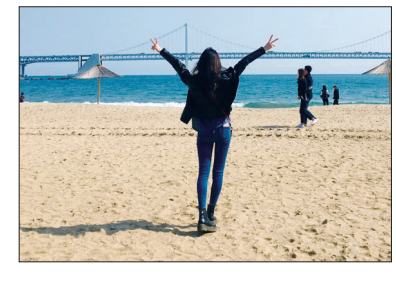
雲の橋には1日1万人を超える観光客が訪れる日もあり、松島海水浴場は新たな観光地として注目されている。

松島は、釜山市民にとって思い出の場所と言われている。1980年代の松島海水浴場は、今の海雲台(ヘウンデ)海水浴場に引けを取らない人気観光地だった。当時の釜山四大名物とされたのが、海上ケーブルカー、海上ダイビング台、小型遊覧船、そしてこの雲の橋だ。ケーブルカーと小型遊覧船は利用客の減少により運営を中止し、老朽化した雲の橋も姿を消していた。

釜山市は松島海水浴場再起のため、これまでに過去の四大名物のうち、三つを復元した。2016年に海上ダイビング台、2017年に海上ケーブルカー、今年6月には雲の橋がよみがえった。残る小型遊覧船も、7月末に運営を再開する予定だ。

あなたの「釜山話」を聞かせてください

釜山広域市の日本語新聞「ダイナミック釜山」の紙面に、読者の皆さんからの「釜山話」を掲載します。テーマは釜山に関するものであれば、何でも構いません。俳句や川柳、エッセイ、旅行記など、どんな形でも結構です。作品は電子メール(hkcho@ korea.kr)か、郵便(〒47545 釜山広域市蓮堤区中央大路1001 釜山市庁9階 疎通企画担当官室 日本語新聞担当)でお送りください。紙面で紹介された方には記念品として、釜山のお土産やキャラクターグッズなど、釜山でしか手に入らないものをお贈りします。問い合わせ：釜山市日本語新聞担当者(82-51-888-1297)



発行所 釜山広域市　**編集者** 裵炳澈　**編集長** 秋昌植　**記者** 趙玟濟 趙顯經 河那恩 姜雅朗
住所 〒47545 韓国 釜山広域市 蓮堤区 中央大路1001　**ウェブサイトアドレス** http://www.busan.go.kr/dynamicjp
お知らせ ダイナミック釜山は日本でも無料で購読できます。**電話** 82-51-888-1297
または電子メール(hkcho@korea.kr)宛てにお名前やご住所をご明記ください。